



秋の 交通安全 週間



交通安全教室を開催しました

9月22日(水)、地域型はつらつくらぶに参加されている方を対象に「交通安全教室」を開催しました。秋の交通安全週間ということもあり、臨港署と駅前交番の警察官の他、一日署長の桜庭操さんも参加してくださいました。高齢者安全・安心アドバイザー(上の写真)による紙芝居や交通安全シュミレータを利用した道路横断の体験などをおこないました。詳しくは、本誌中面で紹介していますのでご覧ください。



交通事故防止グッズ

当日、交通安全教室参加者には、反射材や手袋、「交通事故に遭いませんべい」などが配布されました。交通事故は左側から衝突される場合が多く、反射材を左右どちらかに付ける場合、左側のほうが効果的とのお話でした。反射材は、巻き付けるタイプやシールタイプ、帽子や手袋など様々な種類がありますので、夜出歩くことの多い方はぜひ利用してみてください。





参加者募集中!!



港げんきくらぶ



土崎児童館を主会場に月2回活動しています。いいあんべえ体操やラジオ体操などで軽く体を動かしたり、お話をしたりして楽しんでいます。集うことを目的に、頑張りすぎないことがモットーです。

地域型はつらつくらぶin土崎



場所：(株)かんきょう2階会議室

土崎港東4丁目6-61

日時：第2・4水曜日13：30～15：00

対象：秋田市内在住の65歳以上の方

作品を展示してみませんか？

趣味や日常の活動から生まれた素敵な作品を土崎包括の入り口のスペースに展示してみませんか？

興味のある方は、土崎地域包括支援センター永覚町(846-6471)までお問合せください。



(参考)切り込みの作品



介護予防のための体操を中心に、講話や脳トレ、制作活動などもおこないます。興味のある方は、土崎地域包括支援センター永覚町(846-6471)までお問合せください。

(参考)過去の制作活動の作品 羊毛糸を使ったXmasツリー

交通安全シュミレータを体験

疑似的交通環境を再現し、実際の道路を横断しているかのような体験ができる装置です。日中や夜間、雨天時や降雪時等様々なシナリオを設定することができます。リプレイ映像で体験者の動きを見返すことができ、安全な道路横断の方法を学ぶことができます。町内や老人クラブ等でも体験できますので、興味のある方は、土崎地域包括支援センターまでお問い合わせください。



運転経歴証明書

過去5年以内であれば、免許を返納された方のほか免許を失効された方も運転経歴証明書の交付申請ができるようになりました。詳しくは、運転免許センターまたは最寄りの警察署までお問合せ下さい。

※免許の停止・取消の基準に該当したまま失効した方は手続きできません。

高齢者安全・安心アドバイザーとは

各警察署毎に2～3名の「高齢者安全・安心アドバイザー」が配置されています。主な仕事は、高齢者の安全・安心を守るため、直接高齢者宅を訪問し、交通事故や特殊詐欺の被害防止等に関する情報提供やアドバイスをすること、警察官や関係機関と一緒に交通安全教室や防犯教室をおこなうことです。

地域包括支援センターとは

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者のみなさんを、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支えるために設けられました。みなさんがいつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、地域包括支援センターを積極的にご利用ください。

介護予防ケアマネジメント業務

みなさんが生活の中で実現したいことを目標に、できる限り在宅で自立した日常生活を継続できるよう支援します。地域包括支援センターでは、介護予防に関する情報の提供をはじめ、地域の実情に合わせて介護予防教室などの立ち上げなどを支援します。また、必要と判断された方の場合には、運動器の機能向上や認知症予防などの支援も受けられます。

権利擁護業務

お金の管理や契約に関することに不安があるとき、頼れる家族がいない場合などには、成年後見制度を利用できます。地域包括支援センターで成年後見制度の利用が必要と判断した場合は、申し立ての手続きの支援をします。また、高齢者虐待防止法に基づき、高齢者虐待の早期発見・把握に努め、他の機関と連携して高齢のみなさんを守ります。

地域包括支援センター

主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士などが中心となって高齢のみなさんの支援を行います。3職種はそれぞれ専門分野を持っていますが、専門分野の仕事を行うだけでなく、互いに連携をとりながら「チーム」として総合的にみなさんを支えます。

総合相談業務

地域包括支援センターでは、介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、どのような相談にも対応します。「どこに相談すればよいのか分からない」といった悩みも、まずはご相談ください。問題に応じて適切なサービスや機関、制度の利用につなげます。例えば、介護のサービス事業者に不満があるがどうしたらいいか、認知症の父親の徘徊がひどく困っている、など。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢のみなさんを直接支援するほかにも、地域のケアマネージャーが円滑に仕事ができるよう支援や指導を行っています。また、より暮らしやすい地域にするため、医療機関を含め、さまざまな関係機関とのネットワーク作りに力を入れています。

高齢者生活支援体制整備事業とは

医療や介護サービスだけでは解決しづらい暮らしの困り事に応える生活支援や介護予防、高齢者が生きがいや支え合いの充実を、行政サービスだけでなく地域住民や様々な団体と協力し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るように支え合う地域づくりを目指しています。

この事業を推進するために、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域づくりに取り組んでいます。



皆とっこ集い協議体
定期的に協議体を開催し、
情報共有等を行っています。

7月26日 秋田市主催北部地区エイジフレンドリーシティワークショップに参加。年を重ねても住み続けたいと思える地域をみんなで作るためには何が必要かについて話し合いました。



出張出前講座



包括支援センターでは、地域に出向き出前講座をおこなっています。「地域包括支援センターとは?」「介護予防について」「介護サービスの利用方法」等、ご希望に応じて対応いたします。また、「交通安全教室」「119番通報出前講座」「消費者被害について」等の内容でも専門の講師の方をお招きして講座開催も可能です。町内会や老人クラブの集まり等でご要望ありましたら、ぜひご相談ください。



10月19日、株)かんきょう(土崎港東)で市民向けに認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症の理解や診断・治療・予防についてを具体的な対応例の寸劇と認知症予防のコグニサイズ体験等を交えつつお伝えしました。参加者の方からは「認知症について詳しく知ることが出来た」、「日頃の接し方を気を付けたい」等の意見が聞かれました。

今回は16名が認知症サポーターとなりました。今後、認知症を抱える人もそうでない人も地域で安心して暮らすことが出来るよう活動を行っていききたいと思います。

認知症サポーター養成講座



認知症サポーターキャラバン



高齢者セーフティ研修会



10月15日、いとく土崎店で地域住民向けに特殊詐欺被害防止キャンペーンを開催しました。例年は高齢者セーフティ研修会として、秋田臨港警察署と連携し地域住民や高齢者支援にかかわる専門職や民生委員向けに講義形式で開催していましたが、今年度は感染症対策のため初めて街頭での啓発活動となりました。あいにくの雨模様でしたが、多くの地域住民の方に詐欺被害防止や地域包括支援センターのパンフレットを受け取っていただきました。高齢者の安全を守ることを目的に、日々さまざまな活動を行っています。



編集後記

コロナの感染者数も低下傾向にあり、徐々にではありますが、社会活動が再開しております。しかし、人と集まる機会が多くなれば、これから冬を迎え、感染症が流行しやすい時期にもなりますので、油断は禁物です。包括支援センター職員は、感染対策を講じながら、地域住民とのつながりを持ち続けてきました。コロナ禍で集う機会は減少しましたが、人との結びつきを大事にしながら、今後も活動していきたいと思っております。

(管理者 船木)

土崎地域包括支援センター永覚町

〒011-0946

秋田市土崎港中央1丁目17-32

Tel : 018-846-9471

Fax : 018-846-6475

対応時間

平日 : 8 : 30 ~ 17 : 30

土曜日 : 8 : 30 ~ 12 : 00

